

白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会第2回合同会議 会議録

日時 令和4年10月7日(金)
午後7時から午後8時50分まで
会場 千倉七浦体育館

【当日関係者】

検討委員(白浜地区)	16人(3人欠席)
検討委員(千倉地区)	14人(5人欠席)
オブザーバー(白浜地区)	5人
オブザーバー(千倉地区)	4人
傍聴人	1人
報道	2人
事務局	14人

1 開会

進行 皆様こんばんは。本日は天候の悪い中、御出席をいただき誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局学校再編整備課課長の黒川と申します。よろしくお願いたします。

それでは、会議に入る前にお手元に配布してございます、資料の確認をお願いいたします。

始めに、白浜地区の皆様には、表題が「白浜地区学校再編検討委員会第6回会議 会議録」で、両面印刷で下部中央のページ番号が、1/11から11/11まででありまして、ホチキス留めとなっているもの。

千倉地区の皆様には、表題が「千倉地区学校再編検討委員会第7回会議 会議録」で、両面印刷で下部中央のページ番号が、1/8から8/8までございまして、ホチキス留めとなっているものがございます。

これは、7月に開催されました、それぞれの地区の検討委員会の会議録となります。次からは共通のものとなります。

表題が「白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会第1回合同会議 会議録」で、両面印刷で下部中央のページ番号が、1/22から22/22まであり、ホチキス留めとなっているもの。

続いて、本日の会議次第、本日の席次表。

次に、資料1「学校の名称の検討」、資料2「学校の位置の検討」、資料3「再編時期の検討」、資料4「白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会 専門部会構成(案)」

で、この資料につきましては、第1回会議でお配りしたものと同様のものとなっております。

最後に、資料2-1として、「通学方法別人数」が、A4片面印刷で1枚のものになります。

配布漏れ等がございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは進めさせていただきます。本日は房日新聞、日刊建設タイムズ社の記者の方が取材に見えております。会議の様子を撮影いたしますので、御了承いただきますよう、お願い申し上げます。

また、本日何人かの委員から欠席するとの連絡をいただいておりますので、御報告いたします。

それでは、ただいまから、白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会 第2回合同会議を開会させていただきます。

次第に沿って進めさせていただきます。

2 委員長（議長）挨拶

進行 それでは、次第の2、委員長挨拶となります。

本日の会議の議長を務められます、白浜地区の栗原委員長に御挨拶をお願いいたします。

委員長 皆様こんばんは。夕餉のくつろぎの貴重な時間のお集まりいただき、ありがとうございます。学校というのは、地域や町づくりにとって、非常に大事な拠点です。

人口が減っていく中で、統合は避けられないということで、白浜地区学校再編検討委員会は、令和3年3月30日の第4回会議で、白浜中学校と千倉中学校を統合することに決定。千倉地区学校再編検討委員会は、令和4年7月21日の第7回会議で、千倉中学校と白浜中学校を統合することに決定いたしました。

子どもたちに最善な教育環境を与えるために、私たち大人の責任で、それぞれの立場を超えた大きな視点に立ち、皆様の活発な、忌憚のない、前向きな意見を出していただきたいと思います。

南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱第7条第3項で、「会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」となっておりますが、本合同会議は、結論が出るまでトコトン議論を重ね、全会一致での決議としたいと思います。当日結論が出ないときは、継続審議として次回へ持ち越したいと思います。

なお、質問等につきましては、誠に申し訳ございませんが、回答者が窮することの無いよう、要点を3点くらいにまとめて発言をお願いいたします。本日はよろしく御願いたします。

進行 ありがとうございます。

4 教育長挨拶

進行 次に、次第の3、教育長挨拶。

三幣教育長から挨拶を申し上げます。

教育長 こんばんは。お集まりいただき、ありがとうございます。

生憎の雨、しかも気温が下がっている中で、私がお詫びしなくちゃいけないかなというように、大変申し訳ありません。もう少し暖かいことを予想しているんですけども、そんな理由もあって、大変皆様方には御辛抱いただくことになると思いますが、よろしくをお願いします。

また、前回、マイク、スピーカーの調子が悪くて皆様方に大変御迷惑をお掛けしました。今日を迎えるにあたって、担当者が3回、4回ここに足を運び、機械を変えながら、私どもが持っている機械では、これが現在ではベストだということでやっております。前回よりは聞きやすいのかなと思いますが、御容赦いただければと思います。

また、白浜小学校、中学校のPTAの皆様におかれましては、事前の会議ということでお時間をとっていただきまして、大変ありがとうございます。本日、それを踏まえての御意見いただけるものと考えております。

委員長からお話がありましたように、トコトン議論しまして、合同会議で一つの方向をとということでまとめていただきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

4 報告等

進行 次に、次第の4、報告等に移ります。

基本合意事項の「学校の名称に関する事項」について、事務局から説明いたします。

事務局 それでは、次第の4、報告等の基本合意事項の「学校の名称に関する事項」について、御説明いたします。

第1回会議において、「学校の名称に関する事項」については、お配りしています資料1のとおり、「統合中学校の名称は公募する」ということで御承認をいただきました。

詳しくは、配布させていただきました、「白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会第1回合同会議 会議録」を御覧いただけたらと思います。

以上で説明を終わります。

進行 説明が終わりました。

御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

なお、議事録を作成いたしますので、挙手の上、お名前を述べてから御発言いただきますよう、御協力をお願いいたします。

何かございますでしょうか。

<しばらくの間>

進行　　ございませんか。
特に無いようでございますので、次に移ります。

5 議事

進行　　それでは、次第の5、議事に入る前に御報告をいたします。
本日の出席委員は、白浜地区が19名中16名、千倉地区が19名中14名であり、それぞれ過半数に達しておりますので、南房総市学校再編検討委員会設置要綱第7条第2項の規定により、会議は成立いたします。
次に、本検討委員会は、設置要綱第7条第4項の規定により、会議は公開することとなっております。傍聴の申し出がありましたら、会場の傍聴席に入ってください。
また、市のホームページに委員名簿を掲載しますので、所属及び氏名を掲載することの御了承をお願いいたします。
以上で報告を終わります。
それでは、次第の5、議事に移ります。
設置要綱第7条第1項の規定により、委員長に議長をお願いいたします。
今回の第2回合同会議の議長は、白浜地区の栗原委員長に議長をお願いいたします。
よろしくをお願いいたします。

議長　　それでは、議長を務めさせていただきます。座って進行させていただきます。
設置要綱第7条第4項の規定により、会議は公開することになっています。傍聴人の申し出はございますでしょうか。

進行　　はい。いらっしゃいます。
議長　　それでは、傍聴人の入場をお願いします。

<傍聴人着席>

議長　　なお、傍聴人には、発言権がございませんので御了承ください。
それでは、議事に入ります。
議事の「(1) 基本合意事項について」を議題とします。
報告等の説明でもありましたように、3つある基本合意事項のうち、「学校の名称に関する事項」については、第1回会議において、「公募する」ことに決まりました。

残りの2つの「学校の位置に関する事項」及び「学校の再編時期に関する事項」については、持ち帰り再度検討して、次回会議に意見をもち寄ることとなっております。

それでは、御意見を伺う前に、追加資料の資料2-1について、事務局から説明をしていただき、続いて「学校の位置、学校の再編時期」について、検討委員の皆様から御意見をお願いしたいと思います。

それでは、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局 それでは、ただいま議長からもございましたとおり、資料2-1を御覧ください。「通学方法別人数」となります。

学校の位置について検討いただくにあたり、第1回会議において、通学に関する御意見がございましたので、追加資料として御用意させていただきました。

この表は、市内小中学校の通学距離等調査の令和4年5月1日現在の数値を資料としております。

上から順に、「現在の通学状況」、「白浜中学校を校舎とした場合」、「千倉中学校を校舎とした場合」、「新設中学校（七浦地区に建設した場合）」の通学方法別の人数について表にまとめました。

現在の通学状況として、白浜・千倉両校とも徒歩通学者は、2km未満となります。また、自家用車や電車を利用して、市内の学区外や市外から通学している生徒も存在する状況です。

次に、「白浜中学校を校舎とした場合」は、白浜中学校の通学方法のうち、自転車通学の4km以上は、スクールバス通学としました。また、千倉中学校の生徒197名は、スクールバス通学としました。

次に、「千倉中学校を校舎とした場合」は、白浜中学校の生徒60名は、スクールバス通学としました。また、千倉中学校の通学方法の変化はありません。

次に、「新設中学校（七浦地区に建設した場合）」は、仮に、この千倉七浦体育館を中心とした場合として、おおよそイメージとなりますが、徒歩通学の対象となる半径2km及びスクールバス通学の対象となる半径4kmは、国道410号を道なりに通学すると仮定して、徒歩通学となる半径2kmは、千倉側は、川口区までとなり、白浜側は、白浜町境手前付近までとなります。半径4kmは、千倉側は、南千倉付近、千倉こども園への曲がり口付近までとなり、白浜側は、名倉交差点手前付近までとなります。

徒歩通学は、現在の千倉中学生生徒の白間津区から川口区までに在住の生徒が対象と想定されます。

自転車通学は、忽戸区、平館区及び旧朝夷小学校学区の大部分の地域が想定されません。

スクールバス通学は、千倉地区では、旧健田小学校学区と寺庭区の一部の生徒が対象と想定されます。

白浜地区は、乙浜区、塩浦区及び名倉区の一部が自転車通学対象と想定され、名倉交差点の西側付近から根本区までは、スクールバス通学の対象と想定されます。

以上で説明を終わります。

議長 ただいま、事務局から資料２－１の説明をいただきました。これについて、御質問等ございますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。通学方法についてですが。

<しばらくの間>

議長 説明だけでよろしいですか。

では、次に移らせていただきます。

基本的合意事項の①学校の位置に関する事項について、御意見・御質疑等ございましたら、発言をお願いいたします。

<しばらくの間>

議長 学校の位置について、如何でしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 千倉中学校と白浜中学校統合の位置のアンケートを取った結果なんですけど、全体が３１０に対して、回答が１１９、その内、現千倉中学校が１０７、現白浜中学校が３、どちらでもいいが９票でした。これが千倉小学校の結果です。以上です。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 ①に関する事で意見を述べたいと思います。①、これが学校統合という話になったときに一番にデリケートであり、根幹である。場所が決まらなければ、その他の話しても、まあ早い話、枝葉の話になっちゃう。ではどうしたらいいのかなど。それでこうやって思う意見がなかなか出ない。だろうというふうに思います。立派そうなこと言えませんがね。

白浜中学校も千倉中学校も長い歴史がありまして、凄い実績を挙げた学校です。やっぱり残って欲しいというのが本音。それから通学を考えればやはり、近い方がいい。それはもうあたり前です、じゃあそういうことを言っていればもう進まない。

それで、一つですね、委員会の方の方にちょっと、もしわかればお話ししていただ

きたいのですが、実は何年か前に、和田中学校と丸山中学校が統合合併し、現在嶺南中学校というふうになっています。でそれは、当初の計画と違って、途中から地震のために、いろいろと変わりました。場所で、それこそ場所で大変すったもんだしたという話を伺っております。

それで、前回の資料ですね、実は15回会議をやっている、和田、丸山ですね。すごいことです。しかしながら、最終的に決着をみて、現在の嶺南中学校になっている。ですから、私知りたいなというのが、和田中学校と丸山中学校の話し合いの最後どのような意見交換がなされて、最終的に結論、決着になったのか。和田の方は和田じゃなきゃいけないという話をしていたと思うんですね。

それでも最終的に嶺南中学校になった。もし、その辺わかる方がいらっしゃったらそこ参考になると思いますので、お話していただけたらありがたいと思います。以上です。

教育長 それでは、私から。

和田中学校と丸山中学校の統合については、それほど会議の回数或いは時間も要しておりません。「生徒の、子どもたちの学習環境をより良いものにしよう」ということで、合意しました。

結論としましては、丸山中学校の校舎を使うこととなったわけですが、一つは海拔の違い、和田中学校の校舎は海拔が10m無いところにあります。丸山中学校の校舎は、29m、30m近いところにあります。それと、運動場、野球場、そういったものの施設も丸山中学校の方がまとめて整理されていたということで、中学校の統合については、特段、議論とかというのはなかったと記憶しております。

ただ、小学校につきましては、和田小学校、南三原小学校、そして丸小学校と統合した南小学校の3校、元々でいえば4校ですけれども。統合するときは既に3校になっていましたので。その小学校の校舎をどこにするかということは、海拔の問題とか、利便性とかそういったもので委員の方からいろんな案が出ました。現在の嶺南学園のところに、最終的になったわけですが、当時3.11の後でしたので、海拔30m近くでも、安全安心といえるのかと、そういうような御意見もありました。

最終的には、保育所、幼稚園、小学校、中学校と同じところにあった方が、保護者としては、何かあったときには、一ヶ所、そこに行けば全てのことが足りるということと、あとは海拔の問題で、現在の嶺南学園のところが津波等或いは他の災害についても安全であるだろうということで決まりました。委員がおっしゃったとおり、会議の回数については、かなりかかりましたが、私どもとしては、特段揉めたということではなくて、いろんな意見が出た中で、今申し上げたところに意見が集約するのに時間がかかったということで、理解しております。

議長 如何でしょう。よろしいですか。

委員 はい。

議長 他に御意見ございますでしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 よろしくお願ひします。

第2回会議で、ここでお話ができるように、白浜小学校で保護者会を開きまして、やはり、お気持ちを伝えたい保護者さんというのが沢山いたんです。

位置に関しては、やっぱり白浜中学校がいいという意見が出たということと、それに関してはいろんな理由というのは細かく出ました。あとは新しい新設校をとという方もいらっしやって、教育長の方からお話をいただいて、なかなか、それだと子どもの数と時間をもって考えたときに、時間が掛かり過ぎちゃって子どもの数が少なくなっていくというのを説明いただきました。なかなか位置に関しては、実際ちょっとまとまっておられません。

白浜小学校の意見としてはしっかりまとまっていなくて、個人的に言ってしまうとやっぱり意見は言えるんですけども、なかなか、今いろんな事件があって、子どもをやっぱり長い距離通学させるのもきっと、保護者さんとしては、心配な部分があると思うんですけど、白浜小学校の意見としては、位置に関しては、ちょっとまだまとまりがついていないというのが、今のところの意見になります。以上です。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 先ほど、お話があったとおりで、やはりいろいろな思いがありますので、これ1本でという意見までは至らなかったんですけども、一つあったのが、やはり、この2番、今日の議事の①②なんですけれども、時期については、ある程度見通しが立ったのかなというところがあるので、できれば、統合するというところで集まってきている話なので、今度いつなって、そのために、できれば子どもたち、小学校のうちから交流を持つ、深めていって欲しいという意見が一つ。

あとは千倉中学校も白浜中学校も今までの歴史に一旦幕を閉じるってということが、決定すると思うんですね。新設校ができるということは、今までの歴史に幕を閉じるってことだと思っんで、それぞれの中学校に幕を閉じる面も、それから新しく新設校で始めていくんだ、これから自分たちの学校を作っていくんだっていう子どもたちの意識の受け方を作っていくのは、私たちが今できることなのかなと思うので、そういった意味で子どもたち同士が前向きに新設校に対して進んでいって欲しいなっていうのが、一人の親としての意見になってしまうんですけども、そういうふうに思いました。

なので、①、②を混在してしまうのかなと思うんですけども、もし可能であれば、時期の方から意見をいただいて、時期がまとまっていけば、こうした通学方法を出していただいている中で、みんなの意見がまとまっていくのかなというふうに、今お話

しを聞いて思ったんですけども、如何でしょうか。

教育長 私の方がちょっと確認というか、お伺いしますけれど、時期の方を先に話し合うということで、今お話しを伺った限りでは、白浜小学校の保護者としては、位置については、まとまっていない状況だということ。

そうしますと、時期を最初に決めて、この会議で決めて、あとは位置についてもこの中で、他の委員の皆様方の意見を伺って、それを持ち帰って、白浜小学校の保護者の方でまた意思統一を図るとか、そういうようなことを想定されているのかどうかという、その辺をちょっと。

委員 白浜小学校の役員としては、委任状という形でPTAの皆さんから意見と共にいただいておりますので、今日出ているメンバーとして、出た意見を考えた上で、決議ってようなことには、していこうということで来ています。

議長 ただいま、白浜小学校のPTAの方から御意見がありました、それに関連してでも結構なんです、学校の位置についてその他の意見何かありますでしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 第1回会議の後に、白浜中学校の保護者を集めて説明会を行いました。目的としては、やはり先ほどお話があったとおり、中学校の保護者としての意見を統一ということで行ったんですよ。まあ、教育委員会の方がいたときに、質疑応答のときは新設校ということで意見が一つでて、まとまったんですけども。

その後、父兄で残って、またいくつか意見が出てきた中で、確かに、まとまったかまとまんないかってのは、そのときはまとまなかったんですよ。

出た意見として、一応報告はいたします。保護者累計として、白浜と千倉の中間に新設校っていう意見が多いです。説明会の中で、ハードルが高いっていうのは、皆ある程度理解はしていると思います。なので、完成まで10年位期間がかかる、そうすればもう、次のまた合併の話とか、なかなか現実的じゃないっていう話はあるんですが、そのときでは、新設校っていう意見が一番多かったですね。

それであれば、新設校がハードルが高くて無理だとしたら、白浜中学校か千倉中学校を使用する。その場合は、白浜中学校としては、当然、「学校の教室が足りない」ということで、消去法的に千倉中学校になっちゃう可能性があるんですけども、まあ一つの案として、教室足りない部分、白浜中学校の教室の増設工事とかそういうのを検討していただけないでしょうかというそういう意見もありました。

また、建築の時期もまだ新しいですし、グラウンドも広いですし、そこら辺を考慮して、教室の増設とかでもどうなんですかねという意見が出たので、一応生きた意見として述べさせていただきます。以上です。

議長他に何か意見ございますでしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 我々も前回の会議を経まして、9月の8日に臨時のPTAの総務委員会を開きました。「学校の位置に関する事項、統合時期に関する事項」について、まず総務で話し合いました。その総務の中での結論なんですけれども、学校の位置に関しましては、白浜中学校さんの意見と同じ意味だと思いますが、やはり現千倉中学校の校舎を使用したいということで意見がまとまりました。

まだ、「②の再編時期に関すること」の話にはなっていないので、今話しちゃっていいものかわからないんですけれども、取りあえず、総務としてはこういう意見になりましたっていうことをプリントにしまして、保護者全員に配りまして、それについて意見等ありましたらくださいっていうことで回したんですけども、今日、現在に至るまで、特に意見等々というものは帰ってきておりません。これが、千倉中学校PTAの総意であり、保護者の総意だと思っております。以上です。

議長 他に何か意見等ありますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。他に意見ございますでしょうか。
学校に位置に関する事項です。

<しばらくの間>

議長 無いようでしたら、②の学校の再編時期に関する事項について、何か御意見等あればお伺いしたいと思います。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 先ほどもお話があったんですが、再編の時期の方は、時期の方も保護者会の方で話し合いをしまして、令和5年は早すぎるんじゃないかという、子どものケアっていうのがまず出ましたかね。子どものケアとか早すぎるスパンとか、個人的にもやっぱり、校章とかも間に合わずに、コロナで行事もしっかり行えない中で、しっかり決まって新しいことを始めたいなっていう気持ちもあるので、令和5年ではないっていうのと、あんまり白浜小学校保護者は急いではいないっていうのがあって、この二つの案1、案2からだとならば令和6年になる。もちろん令和5年の方がいいっていう、私のところにもひとり親家庭の意見というのもありました。

もう来年から千倉中学校で、途中中学に入ることなくやってしまいたいっていうひとり親の家庭の方から3件くらい私の方に意見があったんですけども、それも意見としてやっぱり伝えて来ようと思ったんで、今言ったんですけど、概ね6年、令

和6年、それ以降っていった意見が多かったと思います。以上です。

議長 他に意見ございますでしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 よろしく申し上げます。

「②の学校の再編時期」なんですけど、千倉小学校としては簡単にアンケートを取った結果なんですけど、全体310に対して118御回答いただきまして、令和5年4月1日よりが47票、令和6年4月1日よりが71票になりました。以上です。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 よろしく申し上げます。

アンケートに関して補足なんですけれども、アンケートの取り方が、QRコードを記載したプリントを全校に配っていただいて、QRコードからネット上のアンケートに答えるという、かなり簡易的なもので一旦とろうということで、やらせていただいている、回答数も約3分の1ということで、こちら周知の仕方というか、そういうの少し問題があったかなというふうに思ったりしています。

あとですね、自由記載の意見があればというような欄が無かったので、そのあたり、細かい意見というのが、ちょっと聞き取れていなかったのも反省点だったので、もう一度アンケートみたいな形をとってもいいんじゃないかと。ちょっと、今日会長が申し訳ないんですがお休みさせていただいているので、このあたりを含んで話し合いをできたらというふうに、現時点では思っています。以上です。

議長 他に御意見等ございますでしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 先ほども申し上げたんですけれども、我々は9月8日の会議で、この再編時期に関することに関しまして、我々総務としましては、令和6年度が望ましいだろうという結論に至りました。といいますのも、先ほど、白浜小学校のPTA会長の話にあったように、ハードウェアもそうなんですけど、ソフトウェアも、例えば制服ですとかいろいろ部分があると思いますので、そこを合わせてガチャガチャ、ガチャガチャっていうのは、ちょっと早急ではないかなと。もうちょい時間をかけてやっば決めて行くことではないかなっていうのもありましたし、今ちょうど、千倉中学校は現在進行形なんですけども、校舎の改修を行っていますし、令和5年度事業でグラウンドですとか、まだ他にも改修する箇所があるっていうのを聞きましたので、早いに越したことはない部分もあると思うんですけどもそういうのが終わってからの方がいいんじゃないかなと思いました。

我々総務としましては、令和6年度がいいと思うんですがということ、その旨を

書いたプリントを、先ほど申し上げたプリントを保護者に配りましたところ、これに関しても特に意見等は帰ってきていないので、千倉中学校、全保護者の総意と考えております。以上です。

議長 ありがとうございます。

他に御意見ございませんか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 先ほど言ったとおり、保護者説明会のときに、時期についての議題でしたけども、この資料3を見たら、やっぱり決まらないことが多いんじゃないかと、合併が5年だと。時間をかけて全て決まった上で新しくスタートを切らせてあげたいという意見が多かったことで、5年はちょっと忙しすぎるんじゃないかと。ということで、6年という意見が多かったんですけど、7年、6年か7年って意見で白浜中学校の意見はまとまりました。以上です。

議長 ありがとうございます。

教育長 時期については、令和6年度ということで、概ねその方向なのかなということで理解いたしました。そもそも、この再編について皆様方から御意見いただいて結論出させていただこうとした理由は、生徒の数が少なくなってくる中で、今の現状の中で、より良い学習環境を作っていこうということで始めているわけですので、その辺のことを踏まえて、時期は令和6年、令和6年度に新しい学校ということでスタートするのは、どうしたらいいかっていうような観点で話し合っただけであれば、大変ありがたいと思います。

私どももできる限り早い時期に、子どもたちの学習環境を今より良いものにしようということで始めていますので、その一点で御協議いただければと思います。

従いまして、七浦地区に新しい学校を建てるとかそういうものは、今私が申し上げたことを考えれば、私ども提案して、資料として出しておいて大変申し訳ないですけど、これはもうありえない話なのかなと。先ほど、白浜中学校に校舎を増設するということがありましたけど、これについても、私ども予算を立てて、設計していくということになっていくと、少なくとも3年、早くとも3年はかかるのかなと、ただこれについても、市民の方々とか、他の方々とか、議会の了解が得られるのかなというような点も危惧しているところであります。

できれば、方向性としては、「令和6年度、新設校、新しい学校」ということで、スタートしようということで、概ねその方向は、理解できましたので、それを、そのことを、条件として、開設時期の確認と新しい学校の位置について、皆様方に御意見をいただければ大変ありがたいと思っています。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 忌憚のない、いろんな意見をということだったので、この間白浜小学校で、話をしたときに、一つ残念な話があったのは、ある保護者さんが、統合の話が進んでいることはもちろん承知している。その中で、千倉中学校の保護者の方に、職場かなんかわからないんですけれども、千倉中学校として統合するメリットはあるのかわからないみたいなことを言われたという話をしていました。

そのときには、もう教育委員会も退席してからの、保護者の中での話し合いの中だったので、それは一部の人の意見だということであると思えますってことをお伝えしたのと同時に、千倉から白浜に嫁に来たよっていうお母さんもいらっしやって、なので、個人的なというか、いろんな思いがあるのをもちろん汲んだうえで、すごくより良い方向に、子どもたちがより良い方向に行くためにということが集まってくださった親御さんと共に、熱を持って、これからどうしていこうって意見を出してくださったと思うので、そこは、熱をお伝えして帰りたいなっていうのが一つと、あともう一つは、どうしても小さなコミュニティの中で子どもたち同士のトラブルがありますっていう話が保護者の中からあって、やはり小さなコミュニティで、ずっと幼稚園から中学校まで同じメンバーでいってということに関しては、私個人としてもちょっとトラブルが大きくなったりとか、問題が大きくなったりする部分もあるのかなって思うので、人数が増えた中で、クラス替え等の中で自然と解決する、解決していくような、中学生だと多感な時期でもあるので、そういった意味でも、気軽に子どもたち同士が、いろんな意見の中で、成長しあっていくって姿がいいなっていうふうに思うので、早めに統合っていうのは一つ意見です。

あともう一つは、地区の意見として、空き校舎になってしまう確率が高いという状況が今あって、白浜中学校が空いたときに、そのままの学校の状態っていうのは、とても寂しいし、今まで廃校した学校、南房総市内たくさんありますけれども、様々な状況がある中で、明るい未来を作っていくような場として、今の、現白浜中学校が残っていくことを同時並行でどうにか考えていただく、コミュニティだったりとか、市役所の部署なのか、地域住民の有識者なのかちょっとわからないですけれども、そういった白浜中学校とか、まだ決定してないですけど、どちらかが空いてしまうという状況の中で、空き校舎をより良い形で残していくところの見通しも、新設校のスタートと一緒に、何かこう市民の皆さんに提案できることがあると、ああよかったねっていうところが、気持ちが大きくなるのかなと思うので、是非そういったことを提案していただければなと思います。よろしく願いいたします。

教育長 仮にという話になると思いますが、白浜中学校の校舎をもし使わないという結論になった場合については、これまでと同じですけど、活用については、教育委員会の方で責任持って、地区の皆様方、或いはこの再編検討委員会の皆様方の御意見踏まえながら、利活用を図っていくということで進めておりますので、同じような感覚でやっていくことはお約束できると思います。

議長 他に御意見等ございますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 行政連絡員協議会の方々から御意見いただきたいんですが、如何ですか。
千倉地区の区長さん、御指名で申し訳ないですが、何か意見ございますでしょうか。

委員 よろしくお願ひします。

様々な意見が出てくるなど、当然だろうなと思います。こういう統合の話になりますと、非常にデリケートで、皆さんの思いも詰まっていますので、おそらくは出席して何度も何度も思っております。

一番の、個人的な意見ですけれども、統合する場合にはやっぱり安全性というのが何よりも大切かなと、安全性が欠けるといくら中の施設だとかいろんな面を考慮しても、あんまり意味のないことだなというふうに考えます。そういう面で、安全性を重視して考えていただければありがたいなと考えます。これは個人的な意見です。

議長 ありがとうございます。

白浜地区の区長さん、何かございますでしょうか。

委員 白浜の本音といいますと、ホントに白浜から中学校を無くすということが一番辛いことです。そういうのが、一番嫌だってことで、私も中学校を無くすことは、千倉へ行くってことは嫌だと思ひますけれども、生徒のことを考えますと、やっぱり少人数、20人位だとちょっと厳しいです。やっぱり中学はある程度、これから高等学校へ進学したりするのに、多い人数でやった方が子どものためにいいと思ひますけど、住民の方の代表としては、ホント学校を無くそうというのは一番嫌なことだと思ひます。

私もね、白浜小学校と長尾小学校の合併のときにやっていたけれども、いろんな意見が出まして、やっぱり白浜の方へ来るときは、皆さん意見がパッと出なかったですよ。でも、長尾の方の父兄は、結構、スクールバスのことからいろんな意見が出まして、まあ、それに従って、合併したんですけどね。なので、住民としては、学校が無くなるというのは、私一番嫌だと思ひますよ。まあ、しょうがないと私は立場的に思ひますけれどね。

私の方も、今孫が千倉中学校に通ってるんですよ。部活のために。でもやっぱり朝が大変ですよ。朝7時になると出ていくんですよ。地元中学校があれば、私はホントにそれが一番いいと思ひますけど、ちょっとね、人口が少なくなっちゃって大変だと思ひますけれど。皆さん意見を聞いて、新しい学校を造ったばかりだったらいけないし、千倉が改修してれば、しょうがないかなと私は思ひますけどね。まあ、皆さんも白浜の意見のことを、千倉の方のPTAの方は聞いて、なるべく皆さんのいいようにやっていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

議長 ありがとうございます。他に何か意見等ございますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。

<しばらくの間>

議長 皆様の意見を聞いている中で、学校の位置に関する事項はまだ協議が必要かなという思いが強い気がします。時期に関する事項は、令和6年というような、概ね、まとまりになるかなと思いますが、これについて何か御意見ありますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 ①の学校の位置に関する事項につきましては、再度持ち越しということによろしいでしょうか。

委員 はい。すみません。

議長 はい。どうぞ。

委員 南房総市になってもう16年も経ちますし、白浜、千倉ということもないのかなというのが私個人としての意見で、子どもたちに話すにも先延ばしにしていいことは、もうないのかなというふうに、一人の親として思います。

自分の息子は5年生で、重なる時期ということもあるので、意見を出させてもらうと令和6年で決まるのならば、もう落としどころは落としどころとしてあるのかなというのが個人的な意見です。

そういうふうに決まっていった中で、子どもたちの気持ちを前向きに伝えていくというのが親の役目かなというふうに思うので、子ども自身がこの土地に残ろうが旅立とうが、それは子どもの意思だと思いますし、ただ地元、生まれ育った場所がとても素敵な場所で、私も嫁いで10年以上になりますけども、とても素敵な場所でIターン、Uターンで来る同世代がいる中で、「良いところで育ったなって、こんな経験できたなって、学生の時こんなことしたんだよな」って、うちの息子なんかは、ワカメの採取体験をして漁師の皆さんがふるまってくださった、ワカメのしゃぶしゃぶではじめてワカメを食べることができました。そういう経験を自分の小学校のときはこんなことしたんだって、30歳、40歳になったときに言ってもらえることができたなら、とても素敵だなと思うので、そういった仲間、それから体験を早い段階で見通しを持ってもらって前向きに学習に取り組んでもらえたらなって思うので、会議としては先延ばしにしてほしくないというのが個人的な意見です。

議長 ただいまの質問の中で、この会で位置を決めてほしいという考えが示されましたが、皆様これについて如何でしょうか。

<しばらくの間>

議長 皆様、千倉中学校を使用、利用するということで如何でしょうか。これについて何かご意見ありますでしょうか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。

学校の位置について、千倉中学校を使用すると、校名は別に変わりますが、如何でしょうか。この案について。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 今決めてしまうという意見の中で、実際すごく悩んでいて、自分の中でどうやって判断していいのかわからない状態です。ですけど前向きに進めるには、なんて説明したらいいですかね。やっぱり意見を聞いたから、みんなの熱を背負ってきたので、個人的な意見はもう決まっているんですけど、なかなかやっぱりこの立場でいると、なかなか決めにくいというのが今の気持ちです。だからっというて・・・

議長 持ち越しますか。どうしましょう。

もう一度議論しますか、持ち帰って。

委員 議論はしません。

委任状をとったのでしません。そうですね、委任状をとったので。

千倉小学校の方は迷っていませんか。

委員 先ほど、報告させていただいたんですけれども、アンケート、簡易なアンケートだったので、しっかりとしたものとか自由記載、意見など入れればよかったのですが反省はしています。その中で最初の1番を読まさせていただいたのですが、3分の1の回答数の中で、現千倉中学校の場所がいいという方が107名、現白浜中学校がいいという方が3名、どちらでもいいという方が9名という結果でした。

簡易なアンケートだけで完全にというのは、難しいのかなと思うんですけども、いずれにしても千倉小学校の意見としては現千倉中学校なのかなというふうに、このアンケートを踏まえては考えています。以上です。

議長 ありがとうございます。少し長い時間が経過しましたので、5分ほど休憩したいと思います。15分になりましたら再開いたします。

<休憩>

議長 会議を再開します。一旦席に戻ってください。

事務局 すみません。事務局から御報告と御願いを申し上げます。マイクの音が聞き取りにくい、聞こえにくいということがあると今、御意見をいただきました。今スピーカーの位置にいたんですけども、この放送機器が外部、外でやるとき用で音が広がるようになってしまっているの、隅っこに置いて音がまっすぐ行くように置かせてもらっています。

ですので、マイクを離すのではなく、口元で真正面に話すと声がマイクに通やすいということですので、かつゆっくりしゃべっていただけますと幸いです。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

議長 会議を再開します。まず基本合意事項について学校の位置に関する事項ですが他に何か意見はありますか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 ただいま、白浜のPTAの会長さんですとか、白浜の方々の意見と千倉のPTAの方々の意見を聞いた中で、令和6年の4月に統合したらいいのではないかというふうに出たと思います。そうしますと、自然的に千倉中学校を使用せざるを得ないという結論になると思いますので、皆さん方もその辺の意見でご納得いただいていると思いますので、委員長さんそろそろ結論を出してもいいのではないのかなと思いますので、如何でしょうか。

議長 ただいまの御意見で、現在の千倉中学校の校舎を使用するという決めで決めたと思います。①の学校の位置に関する事項です。賛成の方举手をお願いいたします。千倉中学校を使うということで賛成の方举手をお願いします。

<多数挙手あり>

委員 一つ質問をいいですか。

議長 はい。どうぞ。

委員 先ほど教育長の方から新設校の方はもうないですと話があったと思うんですけども、やっぱり白浜のお父さんお母さんたちは、何年経っても、やっぱりずっと10年、20年先も白浜から千倉の方に通うというのはやっぱりどうなのかなという意見が出て、10年後とか何年経ってもいいから間で新設校を建てるということはしないですか。

要は令和6年になって千倉中学校に行きますというのは、それはいいと思います。ただずっと千倉ではなくて、その間に中学校を新たに建てるということはもうしな

ということですか。

教育長 現実的には無理な話だと思います。使える校舎を使ってスタートしたものを、特に千倉中学校の校舎を使って、スタートしたものが千倉中学校に問題があつて、そこではまずいということでしたらそうせざるを得ないですけど、特段そういうような問題は出てこないじゃないかなと。10年、或いは15年経っても、新しい校舎を造るというような状況は無いのではないかと、或いは無いのではないかと、無いと思います。

委員 わかりました。

議長 よろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 逆に千倉中学校じゃだめよという意見の方いらっしゃいますか。

委員 今決議を採っているところで申し訳ないのですが、これは重要な、かなり問題でして、前回の会議でも意見がまとまらなかった事項でもあります。ほんと最後に持ち帰って場所については意見をまとめて、次回報告したいなという気持ちが強いですけどもダメですか。今日じゃなきゃいけないのかな。

議長 では、位置に関しては再度、次回に持ち越しして。

委員 次回に返事できるように必ず。

議長 次回に引き続き協議するということで、皆様如何でしょうか。

<異議なしの声あり>

議長 はい、異議がないものと認めます。次回に持ち越しといたします。

次に、学校再編時期に関する事項ですが、概ね令和6年という意見が多数あつたのですが、この件については如何でしょうか。

委員 はい。

議長 はい。どうぞ。

委員 時期について個人的には令和6年で異議ないんですけども、今日会議の中で残念だと思ったのは、千倉小学校のアンケートがやはり3分の1程度の回収率だったというところが、やはり新設校に対しての受け身姿勢なのかなというのを感じるのですが。

そこをやはり新設校というのでスタートするのであれば、両校共にもう少し関心を持っていただいて、意見を出し合っていて、子どもたち同士の交流なり、新設校に対しての専門部会だったりというところに意見をいただきたいなというのがあるんですけども、そのような意見を皆さんにどのように伝えていくのかをお聞きしたいです。

委員 今日会長が欠席ということで申し訳ないんですけども、はっきり今日こうします、

というのは我々2人でお伝えするのはちょっと難しい部分もあるんですけども、再度アンケートをとることはもちろん検討するというのは、もちろんあるので、そのときに例えば逆に、どういったことを聞いた方がいいよというようなアドバイスとか、もしあれば是非参考にさせていただきたいので、是非お願いします。

委員 私たちもPTA役員の中で同じ役員にお伝えしていくというのは難しかったので、この間、教育委員会の方に来ていただいて、今までの経緯をお話ししていただいてもよかったなと思っています。その中でやっぱり、仕方ないよねということではなく、より良い環境のためにどうしていったらいいかねっていうところを出していきたいねっていうところが、委員会さんが帰られた後もPTAで30分以上話し合いができたことはよかったなと思っています。

学校の先生もいてくださったりとかで、先生方から子どもたちに伝えるということも日常的に必要なだと思いますし、今後交流を図っていくのであれば、やはり担任の先生たちのやり取りの中で、この行事はこういうふうにできそうだねとかっていうふうなことがされていくなかなと思うので、学校とかで生の声というか、是非ここに参加してくださいというアンケートやお手紙を出して、来ていただいてというのが前回、再編委員会の1回目、2回目の間で、白浜小学校で行ったということです。

なので、その印象としては前向きだったなと思うので、学区が広がるっていう前向きに捉えていただけたら、すごく学習環境としてはできることも増えるだろうし、学べる子が増えるのかなと、個人的には思ってお伝えしました。

委員 千倉小学校の、私の息子がサッカーをやっています、千倉小学校の保護者の方と何人かお友達なんですけども、結構知らないことが多いんです。この中学校の再編に関して、知らないことが多くて、私がおしゃべりなので、そこで話をしちゃうんですけども、まず、この合同会議があって、第1回の合同会議でこうなったよっていうのをまず、把握させるっていうのは一つ必要なかなと思って、同じ熱にするのは、難しいことなんですけど、一つの提案としては今までの、どういうふうに決まったかはもちろんホームページで議事録は出ているので、私も結構見て勉強して、自分も出ていない期間もやっぱり見たんですけど、そこまでは別にしなくても、合同会議からでもいいんじゃないかなと自分たちは思って、保護者会とかお手紙で対応しました。全体を把握、全校の保護者への把握ということは必要かなっていう感じですか。はい。以上です。

議長 どうぞ。

委員 ありがとうございます。なかなかこう説明会を絶対やりますとかはなかなか言えないんですけども、お手紙とかであったりとか、前回のアンケートは会長がまず急いでやろうという気持ちが強かったみたいで、わりと簡易型の形、校長先生とかちやんとやりましようみたいな話があったのかなと思うんですけども、そういうところがあって、ということでちょっとこういうことでっていう説明文書っていうのはもち

ろん入っていたと思うんですけども、簡易だったのかなという意見があったりだとか。

あとは、回答をまず見てみるだけというか、あまり回答に関して縛りをしてなかったもので、やっぱりしっかりと回答してくださいとある形で、プッシュするとか、ちゃんと説明と御意見欄を、みんな同じかなと思っても自身の御意見をくださいという部分を入れて、あとは総務の方でも話し時間を取ればベストなのかなというふうに、ただちょっと私、我々2人の一存でなかなかこうしますというのはお約束することはできないので申し訳ないんですけども、先ほどおっしゃっていたように子どもたちにより良い形で、繋げていくとか一緒にしろね、ところっていうのはすごく私個人としても、親としてもすごくわかるので、一度白浜、千倉の歴史が終わって新しい中学校はみんなでやろうね、という部分をこういう会とかで皆さん、いろいろな有識者の方にたくさん来ていただいているので御意見いただきながら、形が取ればいいんじゃないかなと、この辺は個人的な意見で申し訳ないんですけども、はい、いいと思います。以上です。

教育長 私の方から、今委員がおっしゃったことに尽きると思うんです。というのは今会議の流れとしては、千倉中学校を使おうという方向になっています。となると白浜地区の人たちにしてみれば、白浜中学校を捨ててというか、廃校にして新しい学校を造るんだとそれだけ覚悟がかなりあることなので、新しい、白浜中学校と千倉中学校で新しい学校を造っていかなくちゃいけないんだっていう、その思いを共通したいという、それは白浜中学校の方にはあると思いますので、それは私どももこれから両校の校長等も含めてと考えていかなきゃいけないことだと。

今なかなか千倉小学校、千倉中学校の人たちに千倉中学校を使って、新しい学校にするんだということを話してもなかなか切実感は出てこないのかなと思います。やはり、子どもたちが一緒に集まって活動をしていく中で新しい学区、新しい中学校を造っていくんだということは、何回も何回も交流会とかを開いていく中で、そういうものを情景していきたいと思いますし、これはPTAの方々の仕事というよりも、責任というよりも、教育委員会と学校の方がやっていくべきことだと思いますので、そんなふうにやっていきますので、ただ、千倉小学校の方は次回のときにはアンケートに基づいて、こういう考えがあるなどはっきりおっしゃっていただければ、白浜小学校のPTAの方々も納得は、或いは理解はできるのではないかなと思いますので、そんなようなことで理解しますけども、よろしいでしょうか。

委員 是非お願いします。

議長 学校再編時期に関する事項ということで、概ね令和6年ということで、意見がまとまったような感じがするのですが、如何でしょうか。これでよろしいでしょうか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。
令和6年ということで如何でしょうか。
何か声を出してください。
賛成とか異議なしとか。

<しばらくの間>

議長 如何でしょうか。
このまま黙っていますか。
よろしいですか。
令和6年の合併、学校再編ということで、まだ学校の位置については持ち越しとなっておりますが、持ち越ししますか。

<しばらくの間>

議長 では、学校の位置に関する事項、それと再編時期に関する事項の2案については、次回に持ち越しということでよろしいですか。

<しばらくの間>

議長 では、学校の位置に関する事項と再編時期に関する事項については、次回に持ち越しすることといたします。

次に(2)の専門部会についてお願いします。

事務局 議事の(2)専門部会についてですが、議事の(1)が継続審議となりましたので、次回へ持ち越しをさせていただきたいと思えます。

以上で説明を終わります。

議長 ただいま、事務局から説明がありました。委員の皆様からの御発言をお願いいたします。

<しばらくの間>

議長 では、この件も次回持ち越しということでよろしいですか。

<異議なしの声あり>

議長 では、次回に持ち越しといたします。

次に、(3)の次回会議の日程について事務局お願いいたします。

事務局 はい。次回会議の日程ですが、次回会議は令和4年10月24日月曜日から10月28日金曜日の間で両委員長に御相談して、日程を調整させていただきたいと思えます。

御審議の程、よろしくをお願いいたします。

議長 ただいま、事務局から発言がありました。委員の方々から御発言をお願いいたしません。

如何でしょうか。

<しばらくの間>

議長 特にないようですので、日程については、千倉地区、白浜地区の両委員長で相談して決めてよろしいでしょうか。

<はいという声あり>

議長 意義ないものと認めます。

あ、どうぞ。

委員 10月24日から28日の間と伺ったのですが、千倉中学校のPTAの広報部会が27日に会議がございまして、その日は避けていただけますとありがたいです。以上です。

議長 事務局よろしいですか。お願いします。

事務局 はい。わかりました。

議長 以上で本日の議事が終了しましたので、傍聴人は退席をお願いいたします。

<傍聴人退席>

議長 本日の議事が終了しました。大変長い間お疲れ様でした。

事務局に進行をお返しします。

進行 議事の進行ありがとうございました。

それでは、次第の6、その他ですが、事務局から1点お知らせいたします。

事務局 はい、次第の6、その他ですが、1点お知らせがございまして。

本日の会議録についてですが、両委員長、副委員長に会議録を御確認いただき、市のホームページに掲載したいと考えていますので、御了承いただきたいと思います。以上です。

進行 事務局からは、以上となりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

<しばらくの間>

特に無いようでございますので、閉会とさせていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、白浜地区・千倉地区学校再編検討委員会 第2回合同会議を閉会いたします。

長時間にわたり、御協力ありがとうございました。